

秋田地域における「地域連携 IC カード」を利用した IC 乗車サービスの提供について

- 秋田中央交通株式会社（秋田県秋田市 代表取締役社長：渡邊 綱平）、秋田市（市長：穂積 志）、東日本旅客鉄道株式会社（東京都渋谷区 代表取締役社長：深澤 祐二）は、「地域連携ICカード」を利用したIC乗車サービスの提供について合意いたしました。
- 地域連携ICカードは、バスの定期券や運賃支払いなどの地域独自のサービスと、SuicaおよびSuicaと相互利用を行っているエリアで利用可能な乗車券や電子マネーなどのSuicaのサービスが1枚で利用可能な2in1カードです。

1 IC乗車サービスの概要

秋田中央交通(株)が運行するバスの運賃支払いや定期券のご利用、および秋田市マイタウン・バスでの運賃支払いをICカードで行うサービスです。

2 地域連携ICカードの導入による効果

既存のSuicaやSuicaと相互利用可能な他の交通系ICカードで両事業者のバスをご利用いただけるようになり、観光など圏域外からのお客さまの利便性も向上します。さらに、乗車運賃の精算方法がキャッシュレスになることにより、新型コロナウイルス感染症予防対策としても有効です。

導入後は、乗降データを利活用して適切な運行経路やダイヤへの見直しを行い、将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けて取り組んでまいります。

3 IC乗車サービス対象路線

秋田中央交通(株)が運行する秋田市内の路線バス、秋田空港リムジンバス、秋田市中心市街地循環バスおよび秋田市マイタウン・バスへの導入を予定しています。

4 サービス開始時期

2022年3月頃を目途にサービス開始を予定しています。具体的な日程については、決定次第お知らせいたします。

なお、秋田市が実施している「高齢者コインバス事業」については、2022年秋を目途に地域連携ICカードでの決済に切り替える予定としています。